

The Rotary Club of Sapporo Odori Park

札幌大通公園ロータリークラブ
ライラック通信(2009/5/11号)

会長 大坂忠 幹事 高橋宏

第341回例会報告(2009年4月27日)

・地区協議会参加者による報告が行われました(本会議前半及び幹事分科会以外の部分)。

第342回例会予定(2009年5月11日)

・クラブフォーラム

環境問題基礎知識(第34回:日本の林業)

日本は国土面積の3分の2が森林で覆われた森林大国ですが、同時に世界の3分の1の木材を消費する消費大国でもあり、木材の自給率は20%程度です。

不足分を安価な海外からの輸入木材(外材)に頼ったせいで、日本国内の林業が大打撃を受け、深刻な森林荒廃を引き起こしています。

木はただ植えれば良いというだけではありません。間伐をしなければ、太陽光や地面の養分の取り合いが起こり、木が弱ってしまいます。また、木材に加工する際にも、経済効率を優先させて高温乾燥させると20~30年しかもたない耐久性の低い製品となってしまいます。樹齢100年の木を使うならば、それを100年以上使わなければ森林が減少していくのは当然のことです。

林業は時間的にも労力的にもコストがかかります。それに伴い、金銭面でもかなりの支出が必要なのです。外材に頼ると国内林業業者にはお金が入らなくなるので、必要な間伐が行われず、低温乾燥で耐久性の高い木材を作ることでもできなくなります。

ちなみに、外材(樹齢300年の大木)の価格は1万円/m²で、国産材の100分の1です。これでは日本国内の林業は太刀打ちできません。

(事務局)〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1ライオンズマンション第3大通801
TEL/Fax:011-301-2552